

ジェンダー平等を実現し、差別と暴力を根絶する政治への転換を

フェミブリッジは市民連合の女性たちが中心となって立ち上げた、市民と野党の共闘を掲げ活動している女性たちをつなぐ全国のネットワークです。

自公政権は憲法を無力化し、法外な軍拡予算を示す一方、物価高騰で市民が困窮する中、社会保障負担を増やしながら、施策は後退させ、医療や福祉の現場を疲弊させてきました。また新自由主義政策のもと非正規雇用を大量に生み出し、貧困と格差を拡大させました。そのしわ寄せを大きく被っているのは女性です。

日本のジェンダーギャップ指数は世界 148 カ国中 118 位という低さです。金権政治やカルト教団との癒着を続ける現政権のもとで、ジェンダー平等の実現はあり得ません。私たちはジェンダー平等推進、女性の人権擁護、性の多様性の尊重などのためには政権交代が必要であり、市民と立憲野党の共闘が必須の条件と確信しています。フェミブリッジは立憲野党連携の「架け橋」となるべく、ジェンダー共通政策を各党に要望します。

1. ジェンダー平等の法整備、女子差別撤廃条約選択議定書の批准、ジェンダー主流化を進める。

- ・28 年ぶりに国会で審議された選択的夫婦別姓制度について、速やかな実現に向けて取り組む。
- ・同性婚の法制化、自己堕胎罪および中絶の配偶者同意要件の廃止、戸籍の嫡出概念の廃止、所得税法 56 条の廃止等ジェンダーに中立な税制の実現など、ジェンダー平等を推進する法整備を行う。女性や子どもの安全確保の体制が完全に整うまで離婚後共同親権の運用は認めない。
- ・日本に住む誰もが個人として尊重されるよう、包括的差別禁止法の制定を進める。
- ・女性差別撤廃条約選択議定書を早期に批准する。国連女性差別撤廃委員会 2024 年勧告を尊重する。
- ・すべての政策をジェンダー視点から調査・評価するジェンダー主流化を進めジェンダー平等を推進する。

2. 女性への最大の暴力は戦争である。ジェンダーに基づく暴力を根絶し、安心して過ごせる社会を。

- ・DV、性暴力(二次加害を含む)、性搾取など女性への暴力防止をさらに進め、困難女性支援法の実効性を高めるため、その強化に取り組む。
- ・憲法 9 条の改悪や集団的自衛権の行使・敵基地攻撃能力の保有を容認しない。
- ・沖縄をはじめ、米軍基地内外における性暴力を根絶するため、日米地位協定を抜本的に見直し、改定を行う。

3. 男女賃金格差、女性の非正規雇用問題、女性の貧困の解消を。

- ・男女賃金格差の解消、実質賃金の引上げや労働時間の短縮、同一価値労働同一賃金の徹底、女性に偏る非正規労働者の処遇改善、最低賃金 1500 円を実現する。
- ・女性に負担が大きい逆進性の強い消費税の減税と、インボイス制度の廃止。
- ・税制の是正と社会保険料負担の適正化、子ども予算、高齢者福祉の増額など市民生活を保障する。

4. 女性の政治参画・意思決定過程への参画を推進する。

- ・「政治分野における男女共同参画推進法」の実効性を強化する法改正を進める。
- ・すべての政党内でのクオータ制の導入や、女性候補・議員の増加と支援、議会におけるパリテ(男女同数)実現に向けて取り組む。
- ・司法、行政、経済、メディア等各分野での指導的地位における女性比率 30%以上の迅速な達成に向けて取り組む。